

Francesco Dillon チェロの世界

Aki Kuroda, Piano



イタリアの空と風から聴こえてくる
美しい旋律につつまれる時間(とき)

日時 2019年7月12日(金) 18:30 open 19:00 start

会場 千葉市美浜文化ホール <https://chiba-aw.jp/mihama>

出演 フランチェスコ・ディロン Francesco Dillon (チェロ)
黒田亜樹 Aki Kuroda (ピアノ)

予定演奏曲目 エルガー:愛のあいさつ / リスト:愛の夢 / ラフマニノフ:ヴォカリーズ
シューマン: 幻想小曲集 / ピアソラ:アディオス・ノニーノ、ル・グラン・タンゴ 他

企画・プロデュース 近藤由紀子 (CONCORDIA Inc.) 栗田 到 (Enlabo)

チケット料金(全席自由/税込) 一般3,500円 学生2,000円

チケット販売 千葉市美浜文化ホールチケットセンター 043-270-5619 (10時~18時、日・祝休)

千葉若葉文化ホール 043-237-1911

千城台コミュニティセンター 043-237-2241

オンライン販売 <http://chiba-aw/mihama/ticket>

<http://c-r-e-a-m.jp> (学生券のみ)

主催・制作・お問い合わせ エンタテインメント・ラボ 03-5950-9280

コンコルディア 03-6441-3301 <http://www.concordia.co.jp>

後援 千葉市美浜文化ホール <https://chiba-aw.jp/mihama>

フランチェスコ・ディロン Francesco Dillon (チェロ)

フランチェスコ・ディロン Francesco Dillon (チェロ)

1973年、イタリアのトリノ生まれ。

国際的に活躍を続けるチェリスト。

アンナー・ビルスマ、マリオ・ブルネロ、ダヴィド・ゲリンガス、ムスティスラフ・ロストロポヴィチに師事。

作曲をサルヴァトーレ・シヤリーノに師事。

RAI国立交響楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団、ウィーン放送交響楽団、コロシ劇場管弦楽団などと共演。ウィーン・コンツェルトハウス、コンセルトヘボウ、ベルリン・フィルハーモニー、ミュンヘン・ヘルクレス・ザール、ハンブルク・ライスハレ、ジョーダン・ホール(ボストン)、ネアトロ・コロシ(ブエノス・アイレス)など世界各地に出演。最近では、スザンナ・マルツキ指揮ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団との共演も果たし、大きな反響を呼んだ。

1993年、クワルテット・プロメテオを結成し、国内外で活発な演奏活動を展開。ヴェネツィア・ビエンナーレ音楽部門の銀獅子賞を受賞をはじめ世界の音楽コンクールでの受賞多数。室内楽者として高い評価を得ている。BBC、RAI、ARD、ラジオ・フランス、ORF、オーストラリア放送協会、西ドイツ放送などでのたびたび放映され、また録音も多く、ECMレコード、Kairos、Ricordi、Stadivarius、Die Schachtel、Touchなどからリリースされている。サルヴァトーレ・シヤリーノ作品をRAI国立交響楽団共演したCDはゴールド・ディアパソン賞受賞。エマヌエル・トルヴァーティ(ピアノ)とのデュオでは、シューマン作品、リストのチェロとピアノの全作品のCDを3枚リリース(Brilliant Classics)。

フィエーゼレ音楽学校、モスクワ音楽院、パシフィック大学(アメリカ、カリフォルニア)、レス・デ・フェブレロ国立大学(アルゼンチン、ブエノス・アイレス)、マンチェスター大学などで後進の指導にも力を注いでいる。

2010年より、フィレンツェの現代音楽プロジェクトの芸術監督も務めている。



Francesco Dillon チェロの世界 Aki Kuroda, Piano



黒田亜樹 Aki Kuroda (ピアノ)

東京芸術大学卒業後、イタリア・ベスカール音楽院高等課程を最高位修了。

フランス音楽コンクール優勝。

グローナ20世紀音楽コンクール現代作品特別賞受賞。

第6回経日現代音楽賞受賞。

卓越した技術と鋭い感性は同時代の作曲家から高い評価を得、クラシックや現代音楽の分野のみならず、ジャンルを超越したユニークな活動を国内外で展開している国際的ピアニスト。

特に傾倒しているアストル・ピアソラの音楽については1991年より定期的に演奏を続けており、ビクターよりアルバム[タンゴ・プレリュード][タンゴ2000(ミレニウム)]をリリースし、各賞から注目を浴びた。

2013年6月にはバンドネオン奏者の小松亮太氏とともにピアノ4作曲オペラ「ブエノスアイレスのマリア」を、ピアソラ元夫人で歌手のアメリカ・バタールをアルゼンチンより迎え完全上演し話題を呼んだ。

国外ではサルデーニャのSpazioMusica現代音楽祭でブソッチ作品の初演、バルマのレゾ劇場でキース・エマーンソンの代表作「タルカス」を現代作品として録音。シチリアのエトネ音楽祭出演などイタリアを中心に活動。また作曲家・榎松伸夫と演奏意志の同名によりリリースした「PianoCollections FINAL FANTASY」の演奏は世界中のファンに親しまれ続けている。

2014年アメリカのオラダクレーベルより「火の風」～20世紀音楽ピアノのための編曲集リリース。イギリスBBCミュージックマガジン5つ星。レコード芸術誌特別選曲。「東京現音計画」メンバーとしてサントワー芸術祭 第13回壮遊教三賞受賞。

現在はミラノを拠点に世界で演奏活動を行っている。